

## ㈱オハラにおける健康づくり概要

### < ㈱オハラについて >

昭和10年 東京蒲田に(株)小原光学硝子製作所として創業

昭和19年 相模原市に移転

昭和60年 (株)オハラと社名変更し現在に至る

製造製品: カメラや顕微鏡、天体望遠鏡、ビデオ機器等のレンズに  
使用される光学ガラスの他、特殊ガラス・セラミックスとし  
てハードディスク基盤等



「環境にやさしい素材と技術で未来を想像する」をテーマに多分野に貢献に出来る開発型素材メーカーを目指しています。従業員数は約430名です。

### < 安全衛生管理体制 >

安全衛生担当部署は環境安全課と人事課です。安全衛生スタッフは、安全管理者が11名、衛生管理者が2名です。また、従業員の健康管理のため、月に一回、嘱託の産業医とメンタル医がそれぞれ来社しています。

### < 作業・作業環境対策 >

#### ・熱中症対策

オハラでは、ガラスの熔解作業や身体労作により多量の発汗を伴う職場があるため、熱中症の危険性があります。そのため、4月には熱中症教育の実施、シーズン中は小まめな巡視や毎日のWBGT値を測定と配信、職場の作業度と暑さに合わせてサプリメント支給・調整を実施しています。また、注意喚起のため、暑さに合わせて、熱中症警報をメールで配信しています。

#### ・有害物による健康被害対策

防塵・防毒マスクのフィットテストを2回/年、保護具業者の協賛のもと実施しています。慣れているから大丈夫と思っている作業員も装着確認をすると、毎回数名に装着の不具合が見つかり、健康障害予防の大切な機会となっています。

### < 救命救急講習会の実施 >

今年は、AED講習会を社内実施しました。実際にオハラで設置している機械モデルを使用し、より実際的な内容となりました。また、実施後のアンケートでは、実際にその場に居合わせた時の不安も見られましたが、参加者の多くが大変有意義であった・学びを大変活用できると思うと答え、救命処置の知識普及に繋がりました。いざと言う時に備えて、今後は毎年実施する事で、全社員がAED使用に対して知識を身に付ける事が目標です。

### < 生活習慣病対策 > 定期健診受診率は100%

生活習慣病予防のため、35歳以上の5歳刻みで人間ドックを実施しています。また、全健診受診者の経過観察者のうち、将来的に生活習慣病のリスクが高いと考えられるもの、要精密検査者を対象に面談と必要時には受診勧奨を行っています。自覚症状が無いうちに、生活習慣の改善に取り組むのは難しいですが、面談が個々の「気付き」のきっかけとなる事を目指し、組んでいます。

### < ノーカーデー実施 >

1回/月車通勤以外での通勤を推奨しています。工場の立地上、車通勤の従業員が多いですが、排気ガス削減と同時に健康増進にも効果的な習慣行事となっています。

### < 海外派遣者健康管理 >

1回/2月、疲労調査と健康情報を配信しています。海外での体調不良や生活習慣病の発症を未然に防ぐことを目標に、自分でできる健康チェックや、家でも出来る運動方法など、赴任先での生活状況に合わせた内容での配信を心がけています。また、昨年度より、疾病の早期発見や自己管理促進のため希望者には日本・赴任地の日本語対応病院の2回の健診を受診出来る体制としました。

### < 過重労働対策 >

超過勤務者にアンケートとチェックリスト配布し、必要時面談を実施しています。

チェックリスト配布要件

- ・2ヶ月続けて45時間超/月以上の超過勤務者
- ・60時間超/月の超過勤務者
- ・80時間超の超過勤務者

管理職の疲労調査も上記配布要件で実施しています。

実際に業務が多忙な中ででの回答や面談は困難な事が多いですが、心身の不調の早期発見に努めています。

### < 広報活動 >

- ・社内報でコラムとして健康情報欄を設け、情報を掲載しています。
- ・2ヶ月に一回健康新聞を配信しています。出来る限り季節に合わせた内容を心がけています。
- ・相模原市の保健師さんと協力をし、市内で実施予定の健康づくりイベントの社内案内を出しています。
- ・全社ポータルサイトの人事課ホームページに健康情報欄を設け、定期的に更新しています。

### < 産業保健推進委員会 >

神奈川労務安全衛生委員会下部組織の産業保健推進委員会相模原支部に参加し、地域の産業保健活動の情報交換、相模原市との協力・連携を推進しています。

### < おわりに >

従業員数 430 人は、一人一人の顔や性格が分かった上で健康増進に働きかける事が出来る人数です。しかしながら、仕事がメインとなる生活の中で、健康に対する意識付けや、生活習慣病対策を講じる事はとても難しいのが現状です。教育や啓蒙等の日々の積み重ねから、少しでも従業員の中に「健康的な生活習慣を心がけながら仕事をする」という意識が根付く様、今後も取り組んで行きたいと思います。

